学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　音楽科

教科	音楽	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等	自作教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「楽譜の成り立ち」「作曲の方法」「音を出す楽しさ」「音楽の役割」の４分野について幅広く、年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストを中心に評価します。
・音楽理論の学習は、歌唱や楽器の演奏による表現活動を深める為に、基礎となる音楽の理論を学びます。
様々な音楽活動を行う上で少しでも役立つ事を願っています。

２　学習の到達目標

音楽の基礎である「理論や楽典の知識」を学び、音楽への理解を一層深めると共に、さまざまな音楽活動を行う上で、役立てるようにする。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.音楽への関心・意欲・態度	b.音楽表現の創意工夫	c.音楽表現の技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	楽典の持つ理論や体系に関心を持ち、音楽理論の学習に主体的に取り組もうとしている。	楽譜の意味を理解し、作曲の中でどのような効果を生み出す構成になるかを工夫し、表現している。	作曲の基本的な方法や理論を踏まえた作品制作を行う事が出来る。	楽曲の特色を理解し、それらが生み出された雰囲気を楽譜から感じ取ることが出来る。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 作品 歌唱	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	楽典	楽典の構成要素	音階や旋法 「スカボー・フェア」 音符とリズム 「ピアノ・ソナタ」 調合と主音 楽譜	◎	○	○	○	a: 楽典の持つ理論や体系に関心を持ち、音楽理論の学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 楽譜の意味を理解し、作曲の中でどのような効果を生み出す構成になるかを工夫し、表現している。 c: 作曲の基本的な方法や理論を踏まえた作品制作を行う事が出来る。 d: 楽曲の特色を理解し、それらが生み出された雰囲気を楽譜から感じ取ることが出来る。	観察 ワークシート 作品
後期	楽典	楽譜の理解	歌唱 「少年時代」 和音 コード 形式 作曲と演奏	○	◎		○	a: 楽典の持つ理論や体系に関心を持ち、音楽理論を踏まえた歌唱や作曲に主体的に取り組もうとしている。 b: 楽譜の意味を理解し、歌唱や作曲の中でどのような効果を生み出すかを工夫し、表現している。 d: 楽譜の特色を理解し、それらが生み出された雰囲気を感じ取ることが出来る。	観察 ワークシート 歌唱実技

※　表中の観点について

a：音楽への関心・意欲・態度

b：音楽的な感受や表現の工夫

c：表現の技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものから、◎、〇、空欄として示している。